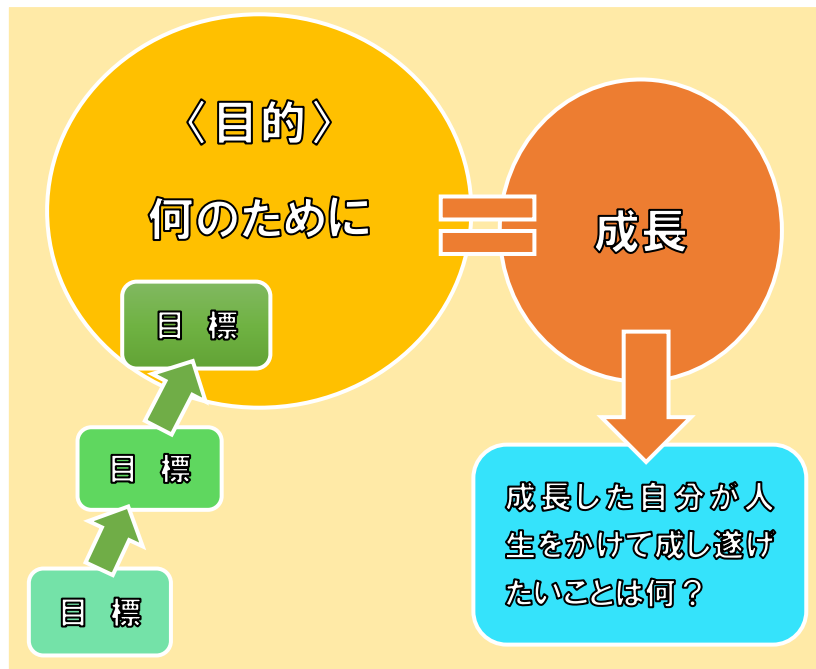




大学でバスケに取り組む意義

令和5年1月10日(火)のミーティング。年末年始のオフ期間を終えて練習再開にあたり「大学でバスケに取り組む意義」についてみんなで考えてみた。

「何のために大学でバスケに取り組んでいるのか？」という質問を投げかけた。私達は1年間の目標を決めてバスケットボールに取り組んでおり、また大会の度に目標を定め、目標を達成するためにどんな練習をし、どんな戦い方をするというのも選手同士で意見を出し合い決めていた。今回のミーティングでは、その目標を何のために設定して頑張るのかということ



を考えてみた。いろいろな考えが学生から出た。好きだから。勝つため。と表現した者もいたが、好きでないと思う時もあるのにやっている。勝てない時もあるのにやっている。何でだろうと考えたときに、「成長」という言葉が発せられた。何かしら成長していると実感できるからやめずに頑張っているのではないかと。目標は叶うときもあれば叶わないときもある。ただし目標に向かって計画を立てたり、心・技・体それぞれの在り方を考え実行したりする過程が成長を促すから意味があるのではないかと結論に至った。バスケに取り組む目的をそれぞれの「成長のため」とチームみんなで共有することを決めた。目的を明確に意識することで判断に軸ができて、行動にブレがなくなる。そしてさらに、成長したあかつきに、人生を通じて何ができたなら自分は幸せと思えるのかと考えてみようと言を進めた。これについては、人それぞれでありみんなで共有しなければならないことではない。今すぐには明言できない人もしっかり考えてみるのが大事だと伝えミーティングを終えた。

選手募集の時に配布しているバスケットボール部のパンフにはチームアイデンティティを、「バスケットボール競技を通じて自己を管理し、他と協働して課題を解決する力を身に付けさせ、輝く社会の創造に貢献する人材を輩出するチーム」と記していることも思い出してみたい。